

五月号塾だより

編集

山口将志
大崎拓己

矢田力椰

今月号のトピックス

- ・1学期中間テスト対策
- ・小学生文庫
- ・コラム「できるだけ早く」
- ・県立高校の合併について

1学期中間テスト対策

●4月16日（水）からテスト対策期間がスタートしました。

●中間テストがない学校の生徒さんには、中間テスト勉強期間はありません。通常授業を行いますので、通常授業の時間に教室へいらしてください。

●今後のテスト日程の把握のため、学校から年間行事表が配られたら、塾へもってきていただけますと助かります。

●また、テストの範囲表が配られたら、塾へもってきていただけますと幸いです。

☆ 4月26日(土)は12:00～18:00でテスト勉強を行います。
また、北辰テストの前日ですので、勉強したい中3生はぜひお越しください。

GWの休みのお知らせ

☆休みになる期間

4月29日（火）～5月6日（火）

☆通常授業の生徒さんには宿題をお渡しいたします。
テスト期間の生徒さんは、休み明けに確認テストを行います。

小学生文庫



D教室の後方に本棚ができました。

数学や歴史のマンガなど、小学生から楽しめる本がいくつかおかれています。

もちろん、中学生が読んでも勉強になる本ばかりです。これからどんどん、勉強に関する本を追加していく予定です。

自由に手に取って読むことができるので、どんどん利用してくれると嬉しいです！

できるだけ早く

新学期が始まってから2週間程度経ちました。新しい生活にはそろそろ慣れたころでしょうか。

新年度のスケジュールがいくつかの学校から提示されましたが、今年は1学期の中間テストがない中学校が半分程度でした。昨年も同時期の塾だよりに書きましたが、昨今、1学期の中間テストがない学校が増えているそうです。今後、1学期中間テストは無くなっていくかもしれません。

中間テストが無くなるということは、期末テストの範囲が広くなるということでもあります。広い範囲の勉強をできるだけ早い時期から継続していく、ということが重要になってきます。

今年の春期講習では、中学3年生のAクラスの数学では、2次方程式の範囲まで進めました。2次方程式はだいたい2学期中間テストの範囲にあたります。

2次方程式まで学習を進めると、単に早いというだけでなく、入試勉強の面でも大きなメリットがあります。入試で出題される計算問題は2次方程式の範囲までですから、2次方程式を勉強しておく、と、実際の入試の計算問題に挑戦できるようになります。

北辰テストを受けた生徒さんをご存じかもしれませんが、北辰テストの数学の大問1では基本的な計算問題が出題されます。計算問題は1問も間違えられません。どのような形の計算でもすらすらできるように、早い段階から何度も練習を重ねていきます。

これから先、中学3年生は中1・中2で習ったことの復習が大切になってきます。まだほかの中3生が受験モードになっていない今が、大きなチャンスです。今から始めることで、ほかの受験生に大きな差をつけられます。少しでも良いので、今まで勉強してきたことを振り返る時間を作ってみると、部活が終わる頃にはかなりの力がついているかもしれません。

(大崎)

県立高校の合併について

今年の受験生が高校に進学する2026年の4月に埼玉県の一部の高校が合併されます。

近いところだと、和光国際高校と和光高校の合併でしょうか。合併といっても実際は、和光高校を失くし、和光国際高校はそのまま存続させる形になるという話です。

塾に自習に来る、和光国際高校に進学した高校生に話を聞いたところ、学校内で新しい高校のアンケートを取っているという話でした。校名アイデア募集の結果は、埼玉県のHPで見ることができます。（<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/264942/wakoukekka.pdf>）

ところが3月末に発表された内容によると、名前は変わらず、和光国際高校のままだそうです。学科も普通科と国際科に分かれ、今までの募集人員と変わらないので、入試の難易度としては今までと変わらないと考えられます。

近隣のほかの高校で大きく変わるのは、越生高校と鳩山高校が合併してできる越生翔桜（おごせしょうおう）高校と、大宮工業高校と浦和工業高校の合併でできる大宮科学技術高校の2つでしょうか。

越生翔桜高校は普通科と美術表現科の2つが設けられ、アニメーション・美術分野で活躍できる人材を育成するというコンセプトのもと設置されるそうです。アニメに関する科目や、県内のアニメスタジオとの連携を通して実践的・体験的な学習活動が行えます。

大宮化学技術高校は情報サイエンス科・機械工学科・電気工学科・ロボット工学科・建築デザイン工学科の5つの学科が設置されます。すべての生徒に対して数理・データサイエンス・AIの科目が必修となり、最新の高スペックのパソコンを導入するそうです。また、方向性としては就職ではなく、大学進学を視野に入れた学校づくりを目指すという話です。

県内に上がっているのは合併の話だけではありません。川越高校、川越女子高校などといった男子校、女子校の共学化の話も活発になされています。また、現2年生の代からは全員、入試に面接が課されるという話もあります。受験に必要な情報をしっかりと手に入れ、入試を有利に進めていきましょう。（大崎）